学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 情報科

科目名 ：	社会と情報	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：：新編　社会と情報　（東京書籍）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	9 回	4 回	2 回	3 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・情報及び情報技術を活用するための知識・技能の習得に加えて、情報を科学的な視点でとらえ理解する。また、情報社会に参画する態度を養い、積極的に情報機器を活用する態度を育む。

・講義や実習形式のスクーリングにできるだけ出席しましょう。レポート課題について学ぶことがあります。

2 学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響について理解できる。
・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集，処理，表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力が育まれている。
・情報社会に積極的に参画する態度が育まれている。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークを活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	①	講義：情報・メディア・インターネット	○			○	a:情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、情報社会に積極的に参画しようとする。 b:情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため、情報の特徴について理解する。 d:情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用できると同時に、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	・レポート
	②	講義：コンピュータにおける情報処理	○	○		○		
	③	講義：ネットワーク・インターネットの仕組み	○	○		○		
	④	講義：インターネットの利点と問題点	○	○		○		
2範囲	①	講義：インターネットとセキュリティ	○	○		○	a:身のまわりの問題を解決するために、情報社会に積極的に参画しようとする。 b:情報社会における問題を解決するため、情報の特徴と情報に関する法規について理解する。 C:情報機器を活用して情報を処理するための技能を身に付ける。 d:情報の特徴と、情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	・レポート
	②	講義：知的財産権について	○	○		○		
3範囲	①	講義：情報社会の発展と課題	○	○		○	a:身のまわりの問題を解決するために、情報社会に積極的に参画しようとする。 b:問題解決に向けて、具体的かつ実践的な方法で行動ができる。 C:情報機器を活用して情報を収集・処理・発信するための技能を身に付ける。 d:情報の特徴と、情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	・レポート ・定期考査
	②	演習：ワープロソフトの基本	○		○			
	③	演習：表計算ソフトの基本	○		○			

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。